

住宅かし保険技術講習会（まもりすまい保険）における質疑について

平成 23 年 2 月 28 日開催の住宅かし保険（まもりすまい保険）技術講習会における質疑に対する回答は次のとおりです。

（問）

地盤調査方法で、SWS 試験は点石にあたった場合正しい判断にならないので、表面波探査の方が良いのでは？

（答）

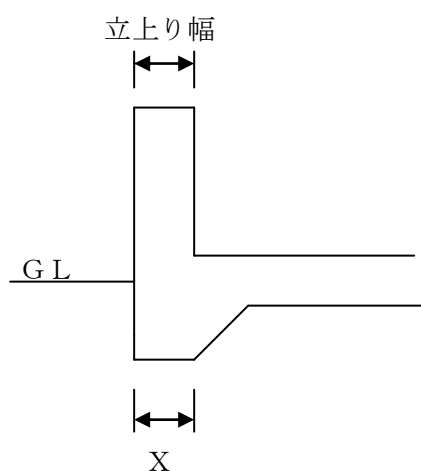
SWS 試験は調査地点に礫等の障害物があるとそれ以上貫入することができませんので、少し離れた地点で再度試験をしないといけないデメリットがあります。

表面波探査で行えばこのデメリットは解消されますが、一方で同探査は「土質が把握できないため地盤補強方法が選択しにくい」「地盤が軟弱だと探査可能範囲が浅くなる」といったデメリットもあります。

このように調査方法によりメリット・デメリットがありますので、一概には言えず、敷地の状況等により選択する必要があります。

（問）

べた基礎下図の寸法 X はいくらが良いのか？



（答）

最低限立上り幅以上あれば保険の現場検査においては問題ありません。